



# め た せ こ い あ

至 創 努 校  
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937  
電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742  
HP アドレス <http://yoshika.ed.jp/>

## 吉賀町について「語る」こと

吉賀高等学校 校長 熊谷 修山

前号で、「自分の住む地域についてきちんと知り・考え、その上で外の世界を知り、そして、世界の中の一つである自分の住む地域のために何が出来るかを考え行動することが大切である」と書きましたが、自分の住む地域について知り、何が出来るかを考えたことが、実際の行動につながるためには、もう一つ大きな壁があると思っています。それは、知ったり考えたりしたことが、本当に「自分自身の思い」になっているかどうかということです。人間は強い「思い」があったとき、「行動」ができるのだと思います。吉賀町のために行動できるということは、吉賀町に対する「思い」の強さがあるということでしょう。では、知ったり考えたりしたことが、自分自身の強い「思い」になるためには何が必要かということ、それは「自ら語る」ことだと思っています。吉賀町の良さについて知ったことを「語る」、吉賀町について何が出来るか考えたことを「語る」のです。自分自身の言葉で「語る」のです。「知識」にしても、最初は誰かから聞いたり本で読んだりした借り物の知識であっても、「語る」ことによって本当の自分の「知識」になります。自分で考えたことも、最初は何となくであったとしても、自ら「語る」ことによって考えがより深まります。同じことは、学習全般についても言えると思います。生徒は、教科書を読んだり、先生の説明を聞いたりして知識を獲得するわけですが、それを誰かに「語る」「説明する」ことによって、かえって自分の「知識」として定着するということがあります。平成25年によしか祭でご講演をいただいた中村文昭氏があるとき、毎日お母さんに学校で習ったことを教えてあげることで、驚くほど高い成績を上げていた小学生のエピソードを紹介されていました。「語る」ことで、学習内容がより定着していたという好例ではないかと思えます。

さて、吉賀高校では、「サクラマス・ドリーム・プログラム(S.D.P.)」の『聞き書き』『アントレプレナーシップ教育』で、発表会を行っています。これはまさに生徒が自分たちで聞いたり調べたり、そして考えたりしたことを「語る」場です。もちろんそのときだけではなく、それまでの過程においてグループワークなどで「語り合」ってきたことを、さらにまとめて「語る」機会です。そして、少し大袈裟な言い方になりますが、高校生が吉賀町について語る機会・場を持つことができるのは、日本広しといえどもそれは吉賀高校をおいて他にはないと思います。他の市や町の高校に行って、吉賀町の宣伝としてはあるかもしれませんが、高校生同士が吉賀町の良さについて語り合うことはあり得ないことだと思います。そう考えると、若者が吉賀町について真剣に語り合う機会である『聞き書き』『アントレプレナーシップ教育』の一連のこのプログラムと発表会は、吉賀町にとっても意味のある場になるのではないかと思います。そして、この「語り」によって、自分自身の「実感」として吉賀町の良さが生徒の心に焼き付けられることでしょう。町外・県外出身の生徒にとっても、吉賀町について語ることで、吉賀町で過ごした貴重な三年間の思い出が心に刻まれると思います。

今年度も、平成29年3月3日(金)に「キャリア教育成果発表会」を予定しています。地域の皆様にも是非ご参加いただき、生徒の「語り」に耳を傾けてやっていただきたいと思います。皆様に聞いていただくことで、生徒の「語り」にもさらに熱が入り、教育的な効果も必ず高まるものと思います。もちろん、それまでの過程の中で、ご協力いただく地域の皆様にも、是非ご自分の経験や思いを語っていただきたいと思います。語っていただくことで、語ってくださった方々ご自身の「思い」もより深めていただけるのではないかと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

## フットサル 島根県大会 2年連続優勝!

サッカー部が、6月5日(日)に行われた第3回全日本ユース(U-18)フットサル大会島根県大会に出場しました。決勝戦で益田翔陽高校に11対5で勝利して見事に2年連続優勝を果たし、6月26日(日)に鳥取県湯梨浜町で開催される中国大会の出場権を獲得しました。



また、サッカー部の中国大会出場を受けて、6月23日(木)に吉高応援隊より激励費を贈呈していただきました。この激励費は、吉高応援隊が町内各所に設置して下さった「吉高支援自動販売機」の売上げの一部で、吉高生の活躍を支えるためにいただいたものです。今回の県外遠征費の一部として、有効に活用させていただこうと思います。吉高応援隊の皆様、吉高応援自動販売機で購入して下さった地域の皆様、大変ありがとうございました。《速報》裏面

## 文化部の活動

美術部 一石見地区高校美術講習会 6月2日~4日

美術部5名が2泊3日の講習会に参加して油彩画に向き合い、三瓶の美しい自然を肌で感じながら絵を描く楽しさを実感しました。晴天にも恵まれ、講師の先生から指導をしていただいたり、他校の生徒の作品を鑑賞したりすることで大いに刺激を受け、有意義な講習会となりました。(※写真部の春季写真コンクールの結果は7月号に掲載します。)



## 地域クラブの活動

6月19日(日)に注連川で行われた田んぼの生き物調査に、吉高生28人がボランティアとして参加しました。会場準備、司会進行、おにぎり作り、写真撮影、生き物調査の手伝い、片付けなど多くの仕事を任せいただき、たくさん子ども達や地域の方と交流して清々しい一日になりました。



## 養老孟司先生講演会

6月10日(金)に養老孟司先生による環境教育講演会「森は“手入れ”をするもんだ」が行われました。「環境は自分たちとつながったもので境目はない。自分と周りを切ってはいけない。」「人間は色々な生き物と一緒に住み、共生している。」「環境を当たり前ものだと思っていないか。」など示唆に富んだお話をしてくださり、「良い環境」や「共生」とは何かということについて改めて考える契機となりました。



# 島根県総合体育大会結果

## 陸上部 主将：澄川結菜

100m、100mh、走り高跳び、走り幅跳び、円盤投げ、4×100mリレーに出場し、2・3年生は自己ベストが多く出ました。1年生は未経験者が多く初めての大会だったので緊張したと思いますが、その中でよく頑張りました。私は円盤投げで6位に入賞し、中国大会に出場します。中国大会までには30メートル投げられるようにし、大会で結果を残したいです。応援ありがとうございました。



【顧問コメント】松江市営陸上競技場にて行われた県総体は、3年生にとっては最後の大会となりましたが、新藤成未、澄川結菜とも自己ベストを更新することができました。また澄川結菜は最後の6投目で逆転し6位に入賞し、6月に岡山県で行われる中国大会に出場することになりました。

1, 2年生もそれぞれが頑張りましたが、中でも初めて組んだ男子4×100mリレーは思った以上の走りができ、今後に期待ができる結果でした。練習を積み、秋の新人戦にはさらに頑張らせたいと思います。応援ありがとうございました。(毛利)

## サッカー部 主将：黒川礼智

県総体は一回戦で大田高校と対戦し、0-3で敗退してしまいました。試合では思ったプレーができず、悔しい思いをしました。選手権では、この悔しさを忘れずに頑張ります。

6月5日のフットサルの県大会では、益田翔陽高校と対戦して1-1で勝利を収めました。中国大会では優勝できるように頑張ります。

【顧問コメント】たくさんの卒業生やOB保護者の声援の中、大田高校との初戦を戦うことができました。しかし、これまでの練習成果を十分に発揮できないまま、今年度の高校総体は無情にも終了しました。本番の難しさを改めて実感し、ゼロからの再出発です。秋の高校サッカー選手権で無念を晴らします。(高橋)

## 女子バレーボール部 主将：佐伯文恵

1回戦は隠岐高校に2-1で勝ち、2回戦は松江商業高校と対戦して2-1で敗退しました。私が1年生の時には2人の部員で活動していましたが、その後下級生が入部してくれ、最後の県総体は13人で戦うことができました。残念ながらベスト8には入れませんでした。13人全員で練習の成果を十分に発揮し、今までで一番いい試合をすることができたので嬉しかったです。目標のベスト8は1, 2年生11人に託したので、これからは厳しい練習に耐えて頑張ってください。ご声援ありがとうございました。

【顧問コメント】1回戦隠岐高校との対戦では、ミスが多くリズムに乗れないまま1セット目を失いましたが、2セット目以降は落ち着きを取り戻し、相手のエースに対してのブロック、サーブなどが効果的に決まり、セットカウント2-1で勝利しました。特に、この試合では、3年生2人の活躍が光り、苦しいときに何度もチームを救ってくれました。2回戦、ベスト8をかけて松江商業と対戦しました。1セット目、相手のサーブ、スパイクの勢いに対応できずセットを失いました。2セット目、しつこいブロックと粘り強いレシーブで流れをつかみ、接戦で取り返しました。勝負の3セット目、序盤サーブで走られ、追いかける展開となりました。中盤粘りを見せましたが振り切られ、セットカウント1-2で敗退しました。ベスト8に入ることはできませんでしたが、可能性を感じることで大会となりました。この大会での経験を忘れず、高い意識を持って練習に励んでいきたいです。大会には多くの方々に応援にかけつけていただき、大変ありがとうございました。(上野城)

## 男子バレーボール部 主将：内藤大意

1回戦は大田高校に2-0で勝ち、2回戦は大東高校に0-2で敗退しました。大田戦では大差を付けて勝つことができよかったです。大東戦では相手のセンター攻撃に手が出せず、自分たちのバレーができずに終わってしまいました。今回の大会で、チームプレーとコンディションの大切さを感じました。よい試合をするためにはコミュニケーションが必要ですし、個人の体調も試合を左右すると思います。11月の春高予選までに何度か試合があるので、試合をイメージした練習をしていこうと思います。たくさんの方に応援されているので、期待に応えられるように、より一層高みを目指して頑張ります。

【顧問コメント】1回戦の大田戦では、ミスによる失点もほぼなく、リズムよく攻撃もできて2-0のストレートで勝つことができました。2回戦の大東戦では、序盤こそ粘って拾いラリーにつなげる展開ができていましたが、中盤以降では相手の速い攻撃に揺さぶられ、レシーブも乱れるようになり連続失点が増えていきました。また、大東の高さのあるブロックを崩すことができずに0-2の完敗を喫しました。技術・体力的にも精神的にも更なる成長の必要性を感じる大会でした。

当日は遠方にも関わらず保護者の皆様、地域の皆様の応援を受けながら試合に臨むことができ、とても心強く感じました。ありがとうございました。(西尾)

## ソフトテニス部 主将：桑原沙希

個人戦では1ペアがベスト32に入り、他6ペアが3回戦までで敗退しました。団体戦では松江東高校と対戦し、1-2で敗退という結果になりました。私たちの目標であった団体戦ベスト8には入ることができず悔しい結果となりましたが、チームが今までで一番一つになって戦うことができた試合だったと感じています。皆さんの応援、本当にありがとうございました。

【顧問コメント】チーム一丸となり、試合に臨みましたが団体戦は1-2の惜敗でした。優位に試合を進められず、相手の手堅い攻めに悩まされ、うまく決めきることが出来ませんでした。保護者の方、地域の方、吉高の生徒、先生などたくさんの方の応援には、大変感謝しています。(福井)

《速報》サッカー部がフットサルの中国大会で見事に優勝を果たし、8月に仙台市で開催される全国大会の出場権を獲得しました！詳細は、7月号にて報告いたします。

## 中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内)-

中高一貫教育コーディネーター 春日亮二

### 吉賀高校一日体験入学で高校生活を体験！！

吉賀高校一日体験入学が、町内4中学校の3年生を招いて6月15日(水)に行われました。視聴覚室で日程説明を受けた後、中学生はあらかじめ希望していた「社会」「英語」「商業」の授業を受けました。吉賀高校の先生方の巧みな授業展開にすっかり飲み込まれ、その時間は吉賀高校生になったようでした。学校説明では高校2年生がリーダーとなって進行了。最後に部活動を体験し、吉賀高校の魅力を十分に満喫した一日でした。

